

2019年3月期 第2四半期決算

説明資料

株式会社 **トクヤマ**

2018年10月31日



2019年3月期 第2四半期決算のポイント

- 対前年同期比では営業利益が減少したものの、現時点では期初予想に沿った進捗。
- 原燃料価格高騰に対しては、販売価格修正等で対応。
- ICT関連製品の投資は、第1四半期のフォトレジスト用現像液に続き放熱材の生産能力増強を決定。
- 劣後ローンの借り換えを実行。

CONTENTS

- 1 2019年3月期 第2四半期決算
- 2 2019年3月期 業績予想
- 3 中期経営計画の進捗
- 4 補足資料

1 2019年3月期 第2四半期決算

1. 決算概要
2. セグメント別売上高／営業利益
3. 営業利益増減分析
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析
5. 収益改善
6. BRIGHT-II の進捗

1. 決算概要

(億円)

	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増 減		主要な変動要因
			金額	%	
売上高	1,461	1,526	+65	+4	苛性ソーダの価格是正 半導体関連製品の販売数量増
営業利益	188	170	△18	△10	苛性ソーダの価格是正 原燃料コストの増加
経常利益	156	154	△2	△1	営業利益の減少 営業外損益の改善
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1	128	+126	-	特別損益の改善
1株当たり 当期純利益(円)	△ 20.87	184.55	-		-
為替(円/\$)	111	110	-		-
国産ナフサ価格 (円/kl)	37,700	51,100	-		-

1. 決算概要

(億円)

	2018年 3月末	2018年 9月末	増 減	主要な変動要因
総資産	3,619	3,672	+52	新規連結子会社の発生等に伴う 固定資産の増加
自己資本	1,256	1,362	+105	親会社株主に帰属する 四半期純利益の積み上げ
自己資本比率	34.7%	37.1%	+2.4ポイント	-
有利子負債	1,399	1,363	△35	長期借入金の減少
D/Eレシオ	1.11	1.00	△0.11	-
ネットD/Eレシオ*	0.58	0.48	△0.10	-
1株当たり純資産 (円)	1,806.56	1,961.21	-	-

*ネットD/Eレシオ: (有利子負債－現預金・現金同等物・金銭信託) / 自己資本

2. セグメント別売上高／営業利益 (前年同期比)

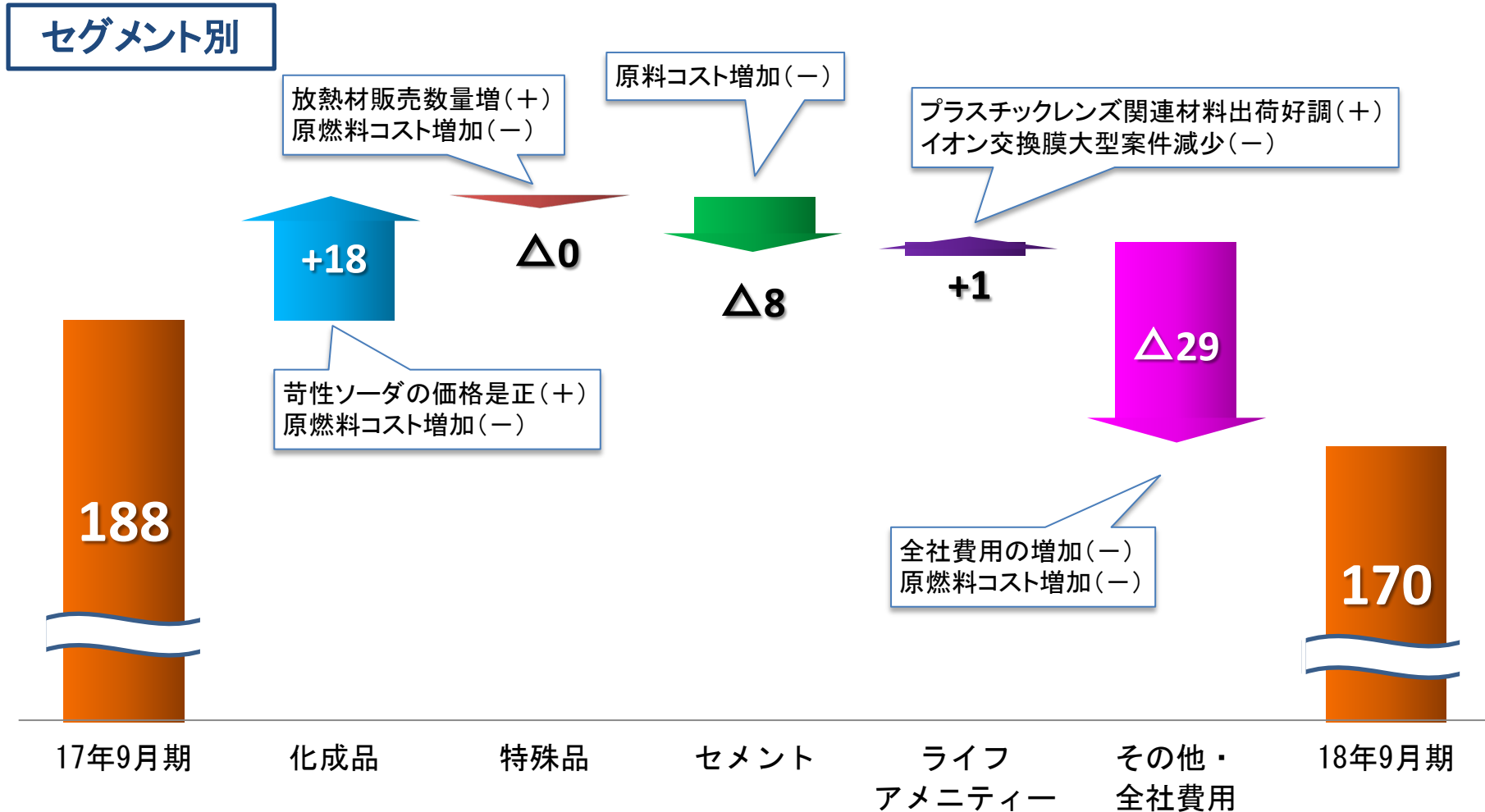
(億円)

	2018年3月期 第2四半期		2019年3月期 第2四半期		増 減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	433	69	481	87	+48	+11	+18	+26
特殊品	272	43	268	43	△4	△2	△0	△1
セメント	425	22	439	14	+13	+3	△8	△38
ライフアメニティー	253	14	256	16	+2	+1	+1	+13
その他	266	31	287	17	+21	+8	△14	△45
計	1,651	182	1,732	179	+81	+5	△2	△2
セグメント間消去・ 全社費用	△189	6	△205	△9	△16	-	△15	-
連結決算	1,461	188	1,526	170	+65	+4	△18	△10

(注)各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

3. 営業利益増減分析

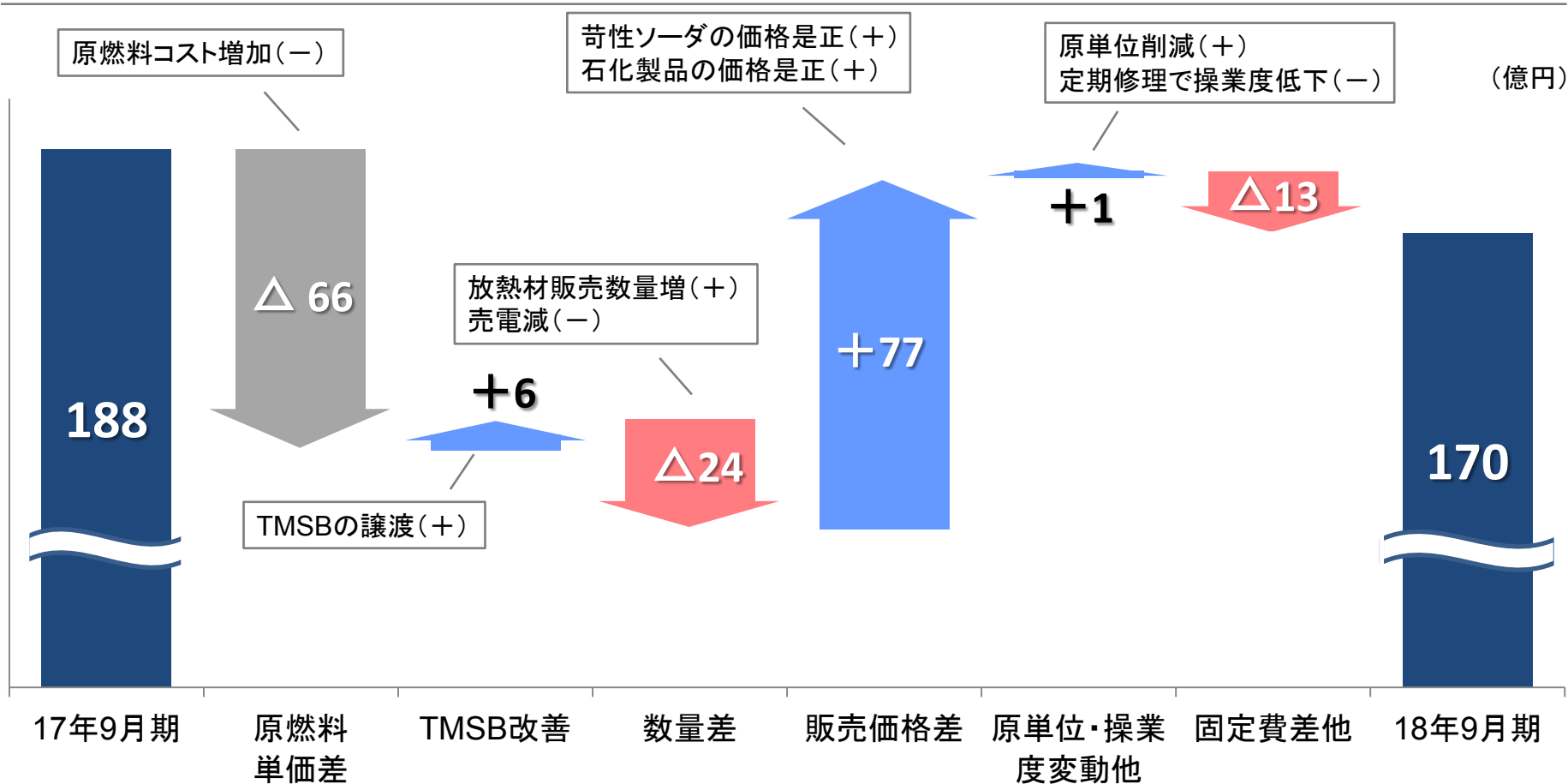
(前年同期比) (億円)



3. 営業利益増減分析

(前年同期比)

要因別



*TMSB: トクヤママレーシア

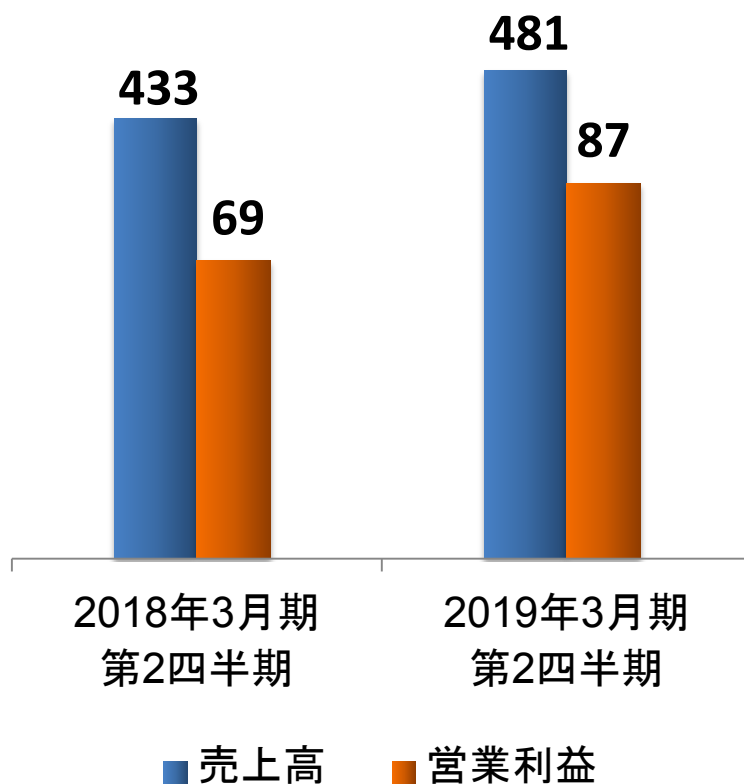
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析 (前年同期比)

化成品

増収増益

定性情報

(億円)



(苛性ソーダ)

- ・アジア向けの輸出を中心に販売数量が堅調に推移したことや、国内の販売価格の是正が進んだことにより、業績が大きく伸長

(塩ビ樹脂)

- ・販売数量は堅調に推移したものの、国産ナフサ等の原料価格の上昇により製造コストが増加し、減益

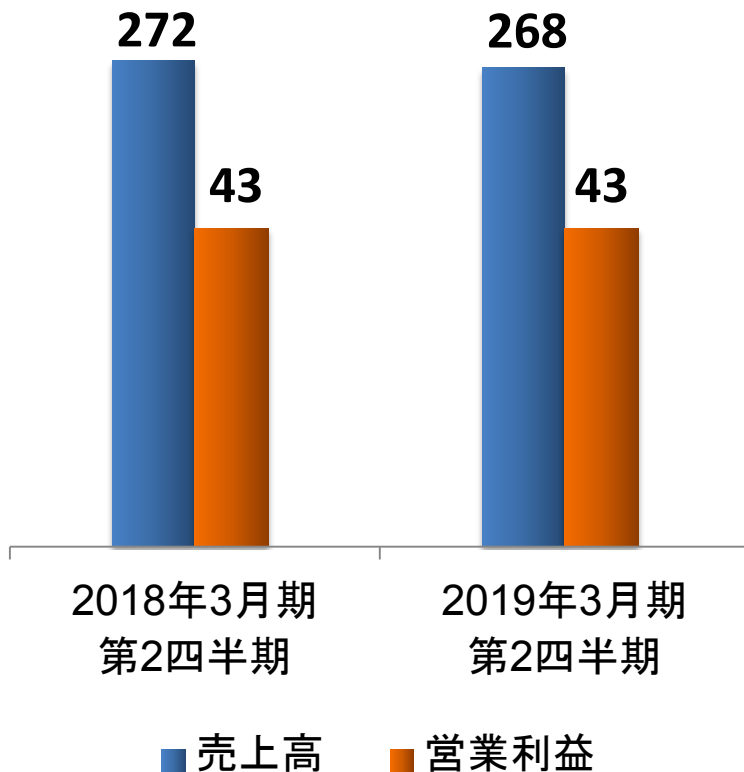
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析 (前年同期比)

特殊品

減収減益

定性情報

(億円)



(半導体向け多結晶シリコン)

・販売数量が堅調に推移したものの、原燃料価格の上昇等により製造コストが増加し、減益

(電子工業用高純度薬品)

・半導体製品用途で販売数量が増加したものの、国産ナフサ等の原料価格の上昇により製造コストが増加し、減益

(放熱材)

・半導体製造装置部材向けを中心に販売数量が増加し、好調に推移

※Tokuyama Malaysia Sdn. Bhd.の連結除外による売上高の減少額は、16億円

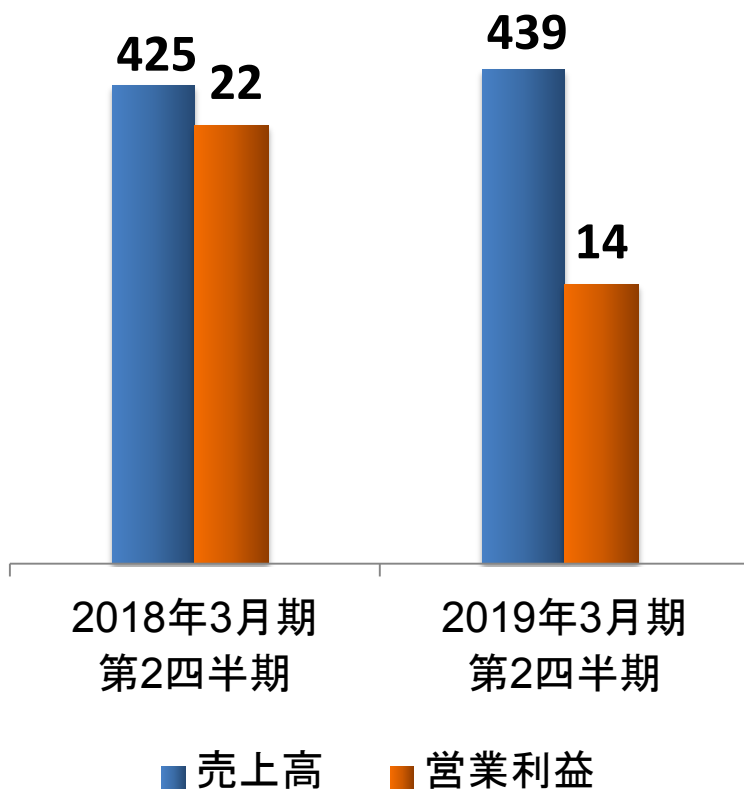
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析 (前年同期比)

セメント

増収減益

定性情報

(億円)



(セメント)

- ・国内の出荷が軟調に推移したことや、石炭等の原料価格の上昇により製造コストが増加し、減益

(資源リサイクル)

- ・ほぼ前年同期並みの業績

4. セグメント別売上高／営業利益増減分析 (前年同期比)

ライフアメニティー

増収増益

定性情報

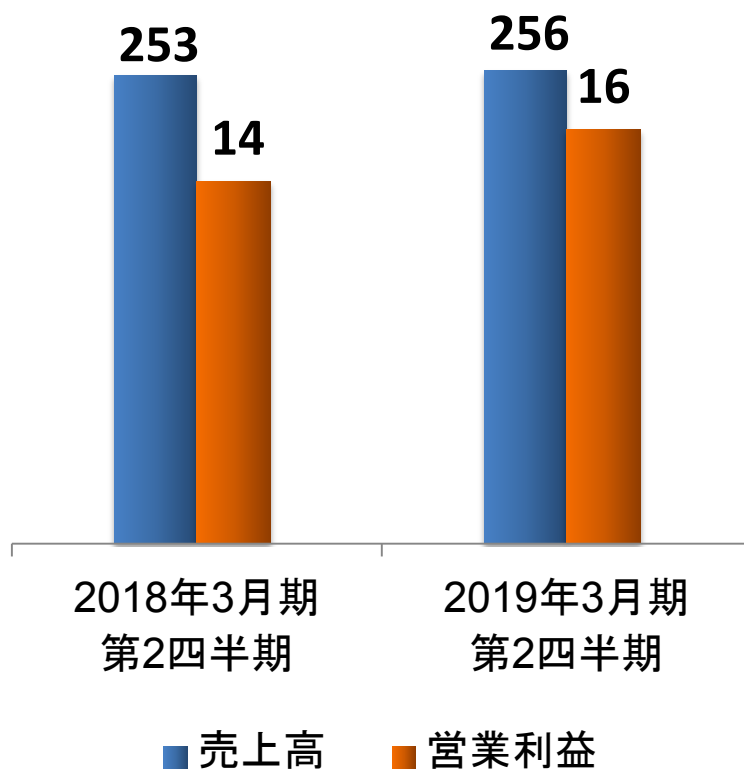
(億円)

(プラスチックレンズ関連材料)

・メガネレンズ用フォトクロミック材料の出荷が好調

(イオン交換膜)

・出荷は堅調に推移したものの、
大型案件のあった対前年同期比では減益

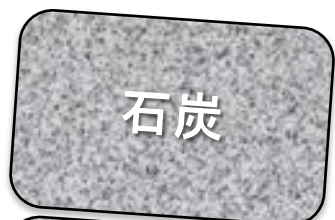


5. 収益改善

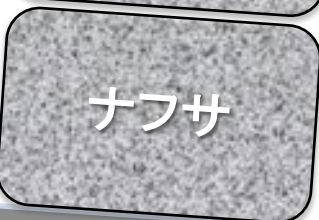
原燃料価格の上昇による収益性低下を抑制すべく、値上げを実施中
数量は堅調に推移しており、値上げ+コスト削減で収益性改善を目指す

インプットコスト
の上昇

収益改善策



石炭



ナフサ

価格修正

数量増

コスト削減

化成品

セメント

ライフアメニティー

特殊品

化成品

特殊品

セメント

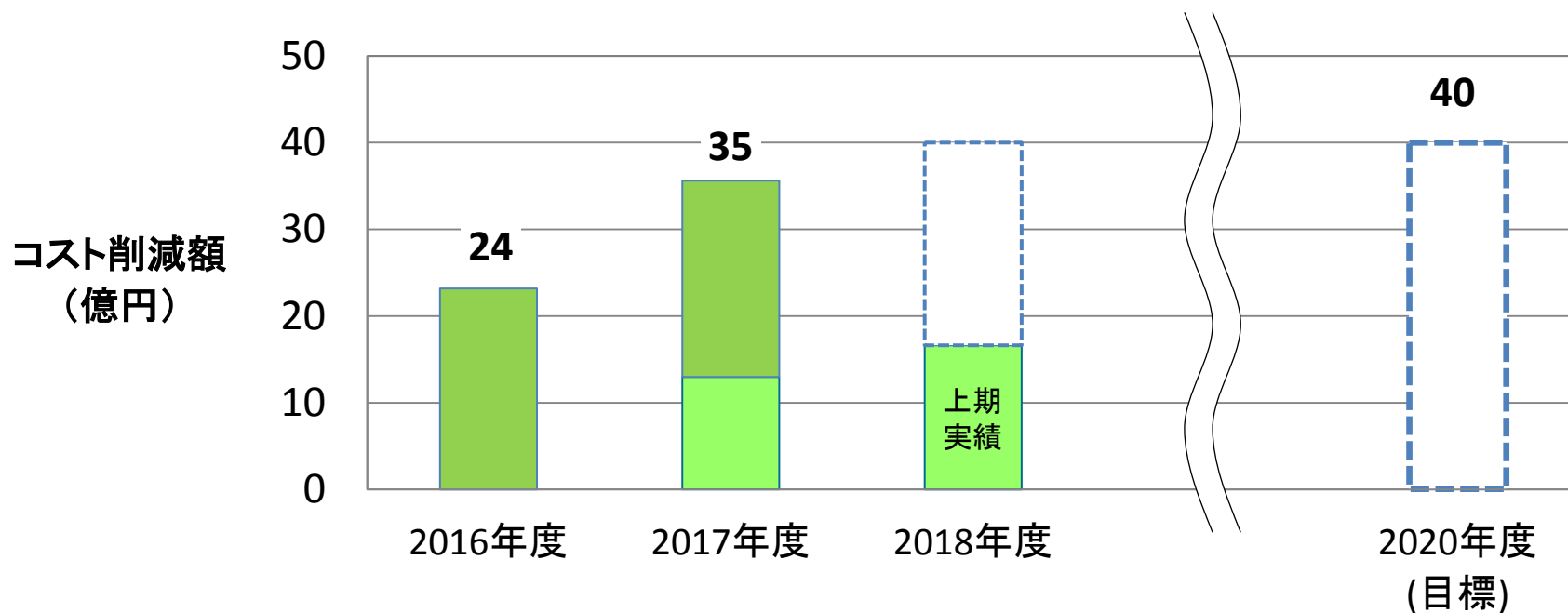
塩ビ : 10月22日出荷分より
15円/kg以上
セメント : 4月1日出荷分より
1,000円/t以上
OPP・CPPフィルム: 9月3日出荷分より
30円/L以上

放熱材などの数量増

BRIGHT- II 推進によるコスト削減の
徹底

6. BRIGHT-II の進捗

- 2018年度上期のコスト削減額は、2017年上期実績を上回る進捗。
- 新規のコスト削減テーマの立ち上げなどにより、更なる積上げを図る。



② 2019年3月期 業績予想

1. 業績予想
2. セグメント別業績予想



1. 業績予想

(億円)

	2018年3月期 実績	2019年3月期 予想	増 減		主要な変動要因
			金額	%	
売上高	3,080	3,280	+199	+6	苛性ソーダ及び石化製品などの 価格是正と販売数量増加
営業利益	412	380	△32	△8	原燃料価格上昇による 製造コスト増加
経常利益	361	340	△21	△6	営業利益の減少
親会社株主に帰属する 当期純利益	196	270	+73	+37	特別損益の改善
1株当たり 当期純利益(円)	259.81	388.15	-		-
為替(円/\$)	111	上期実績:110	-		-
		下期前提:110			
国産ナフサ価格 (円/kl)	41,900	上期実績:51,100	-		-
		下期前提:54,000			

今後の事業環境については、為替、原燃料価格の上昇など、不透明な部分はあるものの、製品の価格修正等により収益改善を着実に実行している。そのため、2018年4月27日に公表した業績予想を据え置く。

2. セグメント別業績予想

(億円)

	2018年3月期実績		2019年3月期予想 (4/27公表)		増 減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	935	161	1,020	180	+84	+9	+18	+11
特殊品	586	110	630	110	+43	+7	△0	△0
セメント	873	45	930	45	+56	+6	△0	△1
ライフアメニティー	515	37	560	30	+44	+9	△7	△20
その他	545	62	540	35	△5	△1	△27	△44
計	3,456	416	3,680	400	+223	+6	△16	△4
セグメント間 消去・全社費用	△376	△4	△400	△20	△23	-	△15	-
連結決算	3,080	412	3,280	380	+199	+6	△32	△8

(注)各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

3 中期経営計画の進捗

- 1. 成長戦略**
- 2. 財務戦略**

1. 成長戦略(ICT関連製品の取り組み)

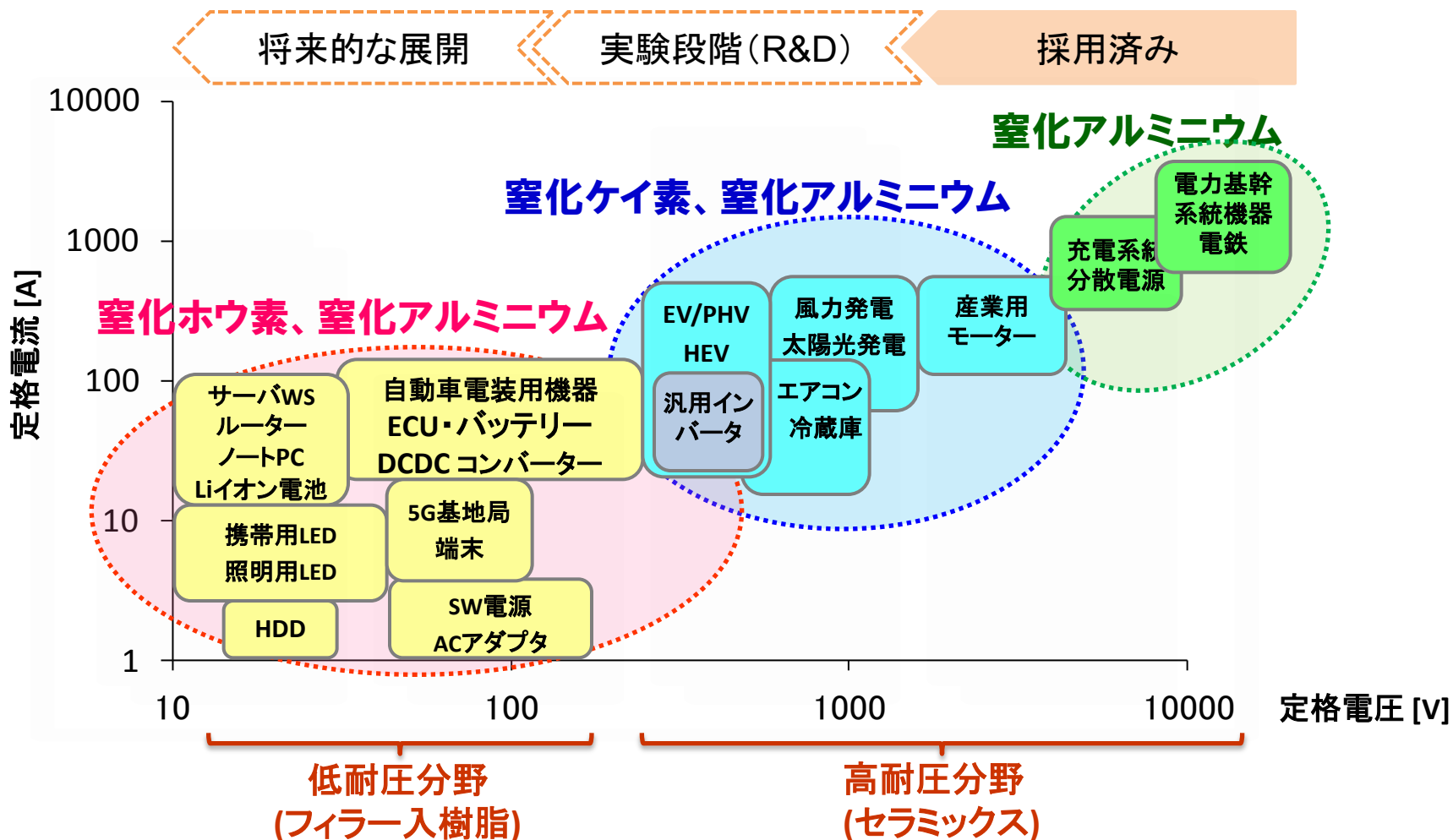
事業環境について

- 半導体メーカーの設備投資延期、半導体製造装置受注の減速など先行き不透明感があるが、ICT関連材料の需要については引き続き旺盛。

	現状での取り組み	成長に向けた施策
半導体向け 多結晶シリコン	<ul style="list-style-type: none"> ■ フル生産維持 	<p>さらなる品質向上による 他社製品との差別化</p> <p>台湾研究所を足場に、 現地半導体メーカー、 研究機関などとの 連携による 次世代製品の開発・ 新規開発テーマの探索</p> <p>製品ラインナップ拡充</p>
フォトレジスト用 現像液 TMAH	<ul style="list-style-type: none"> ■ 能力増強決定 ‘20年4月 50%増 	
洗浄用高純度 IPA	<ul style="list-style-type: none"> ■ 台湾第2工場建設による供給体制の強化 (‘19年2月出荷開始) 	
乾式シリカ	<ul style="list-style-type: none"> ■ CMP用途製品の販売数量増 ■ 電子産業関連(トナー、液晶パネル部材など)のシリカ製品の拡充 	
放熱材	<ul style="list-style-type: none"> ■ 生産能力増強 ‘18年4月 480トン/年→600トン/年 ‘20年4月 600トン/年→840トン/年 	

1. 成長戦略(放熱材事業の展開)

EV/HEVや各種パワーデバイスには効果的な熱マネジメントが不可欠
 ⇒ 当社の特有技術を軸として製品ラインアップを拡充し事業領域を拡大



2. 財務戦略(劣後ローンの借り換え)

- 総額600億円の劣後特約付きローンの借り換えを2018年9月20日に実施。
- 金融費用の削減とともに新たな契約条件により、借り換えから5年経過後に一定の基準※を満たしていればエクイティファイナンスを行わずに手元資金により期限前返済が可能。

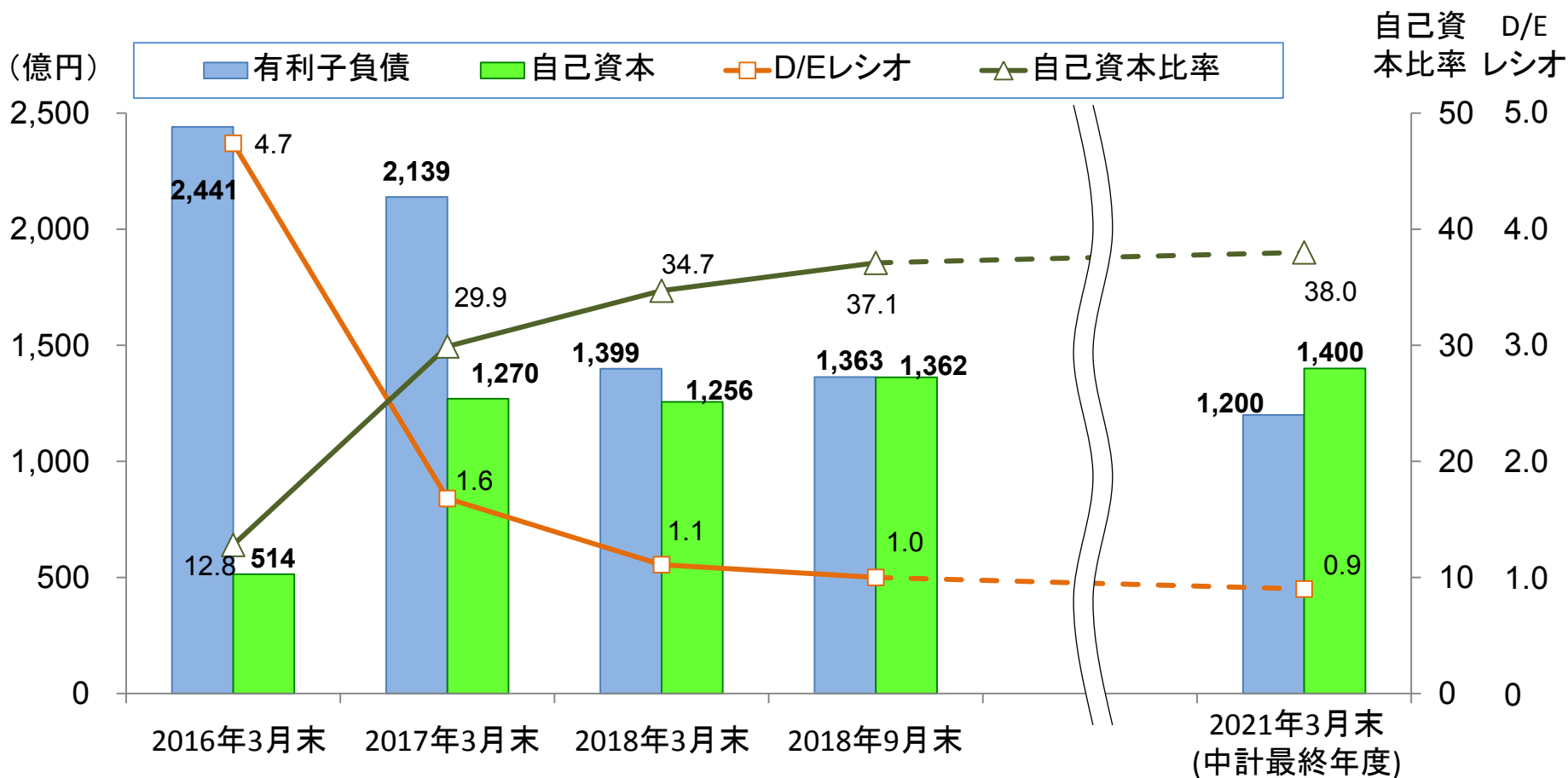
※ (1) 株主資本金額1,792億円以上(2018年3月末時点から600億円以上の積み増し)
(2) DEレシオ0.9倍以下



- 株主資本の積み上げが必要であるが、現在の利益水準が続けば上記一定の基準を満たすことが可能のため、資金使途の優先順位に影響はない。

2. 財務戦略(有利子負債削減)

- 中計最終年度の目標財務指標を今年度中に達成する見込



Chemistry with a heart

TOKUYAMA



4 補足資料

1. 連結財務諸表(要約)
2. 営業外損益・特別損益・金融収支
3. 投資実績・計画
4. 業績推移
5. 設備投資額・減価償却費推移
6. 有利子負債残高推移
7. フリー・キャッシュフロー推移

4 補足資料

1. 連結財務諸表(要約)

損益計算書

(億円)

	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	差損益	
			金額	%
売上高	1,461	1,526	+65	+4
売上原価	982	1,052	△69	△7
販管費	290	304	△13	△5
営業利益	188	170	△18	△10
営業外損益	△31	△15	+16	-
経常利益	156	154	△2	△1
特別損益	△17	4	+21	-
税前三半期純利益	139	159	+19	+14
法人税等	86	27	+58	+68
非支配株主損益	51	3	+48	+94
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1	128	+126	-

(注)差損益の表示は、利益を+、損失を△としている

4 補足資料

1. 連結財務諸表(要約)

貸借対照表

(億円)

	2018年3月末	2018年9月末	増減	
			金額	%
資産合計	3,619	3,672	+52	+1
流動資産	1,910	1,910	△0	△0
有形固定資産	1,102	1,154	+52	+5
無形固定資産	27	20	△6	△25
投資その他の資産	579	586	+7	+1

	2018年3月末	2018年9月末	増減	
			金額	%
負債合計	2,253	2,205	△48	△2
流動負債	930	909	△20	△2
固定負債	1,323	1,295	△27	△2
純資産合計	1,365	1,466	+100	+7

2. 営業外損益・特別損益・金融収支

連結（前期比）

（億円）

		2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	差損益
営業外収益	受取利息・配当金	2	2	+0
	その他	19	26	+6
	計	22	29	+6
営業外費用	支払利息	20	15	+4
	その他	34	28	+5
	計	54	44	+9
営業外損益		△ 31	△ 15	+16

特別利益	83	10	△72
特別損失	101	6	+94
特別損益	△ 17	4	+21

金融収支	△ 17	△ 12	+4
------	------	------	----

（注）差損益の表示は、利益を+、損失を△としている

3. 投資実績・計画

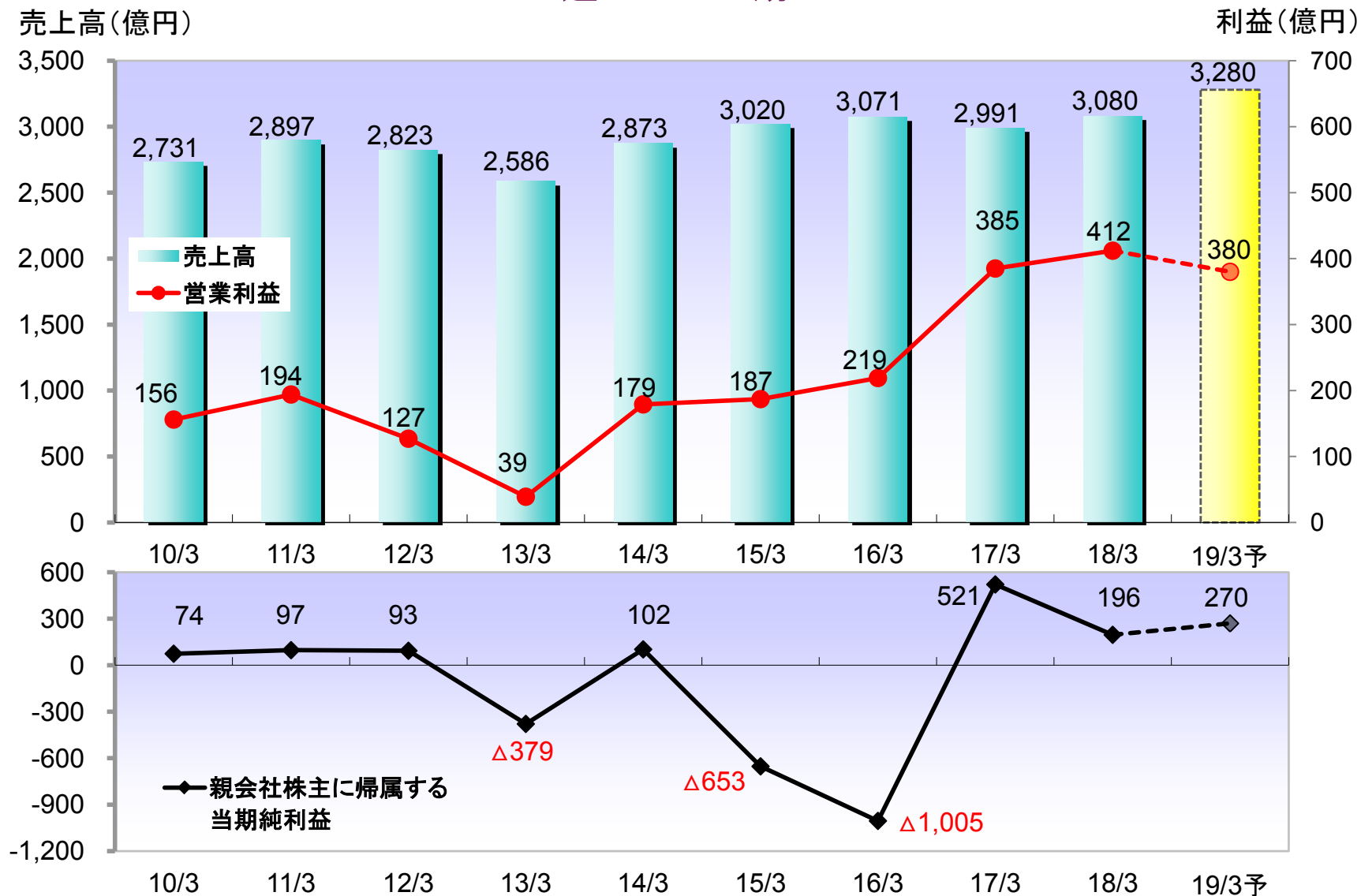
連 結

(億円)

	2018年3月期		2019年3月期		増 減	
	上期 実績	通期 実績	上期 実績	通期 予想	上期	通期
設備投資額	86	159	89	197	+2	+38
減価償却費	66	139	70	151	+3	+11
研究開発費	38	79	38	84	△0	+5

4. 業績推移

通 期



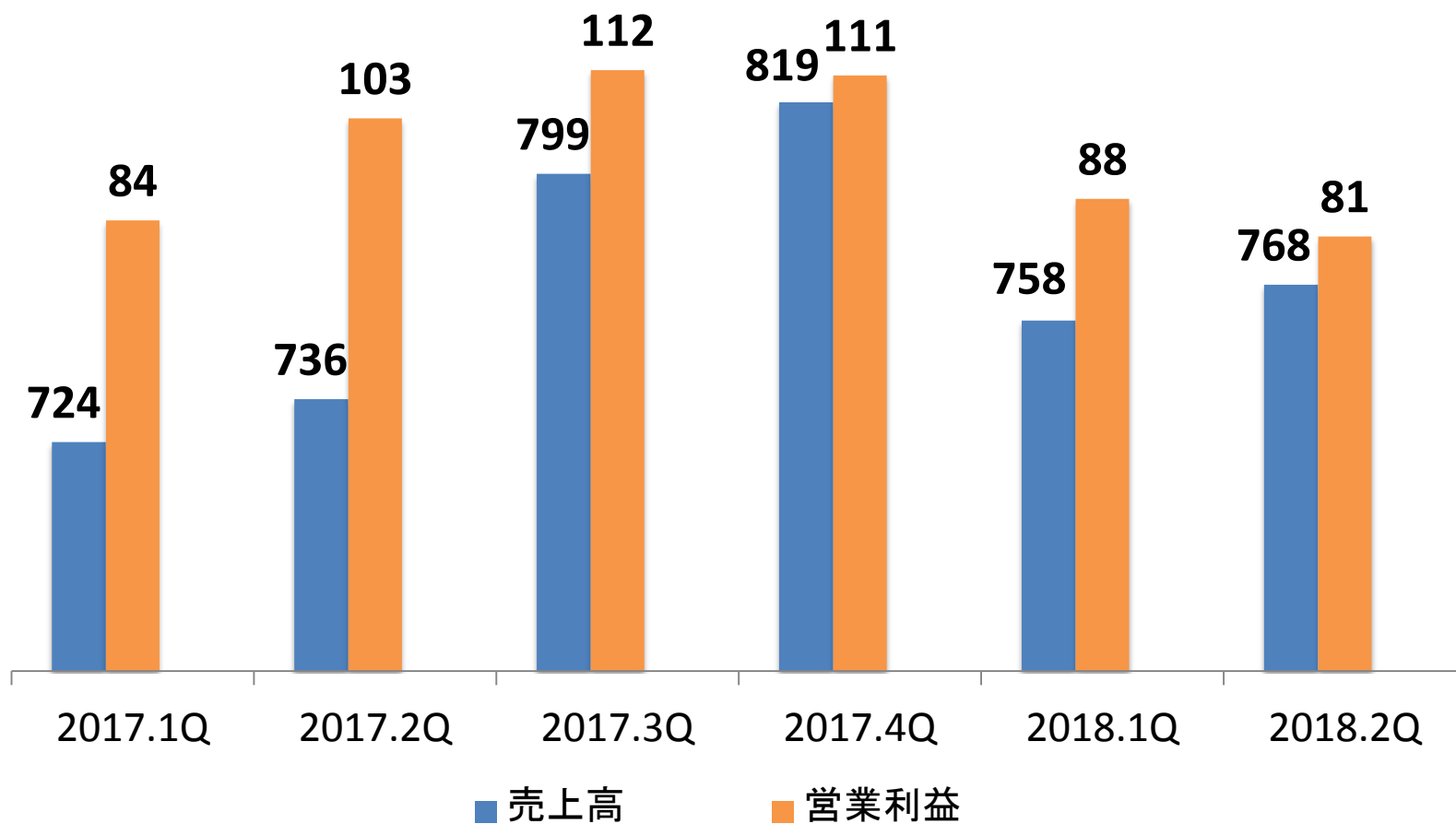
4 補足資料

4. 業績推移

連結

四 半 期

(億円)

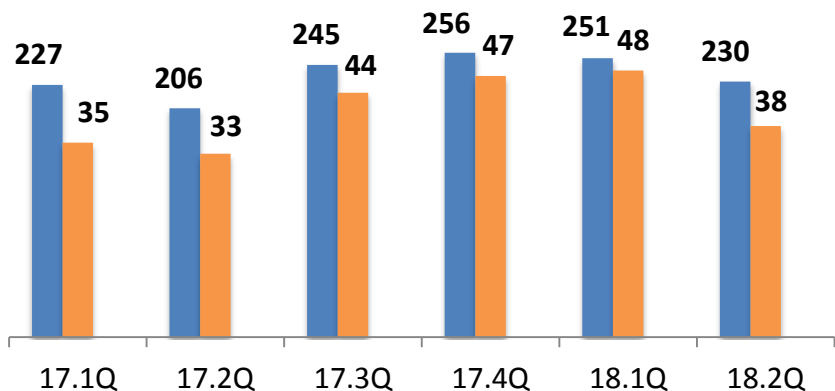


4. 業績推移

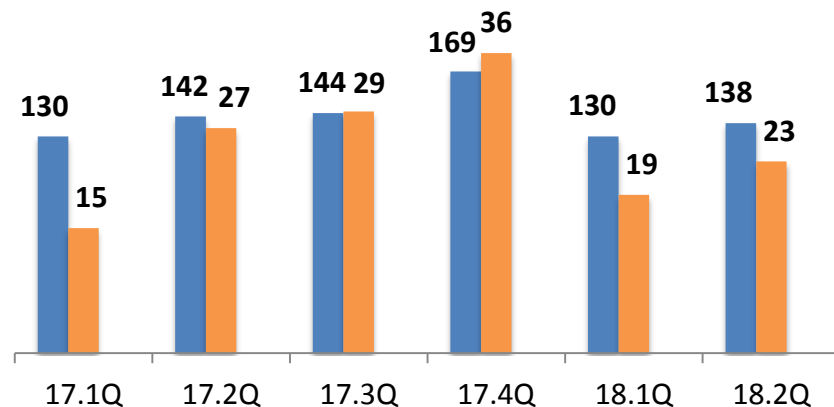
四 半 期

(億円)

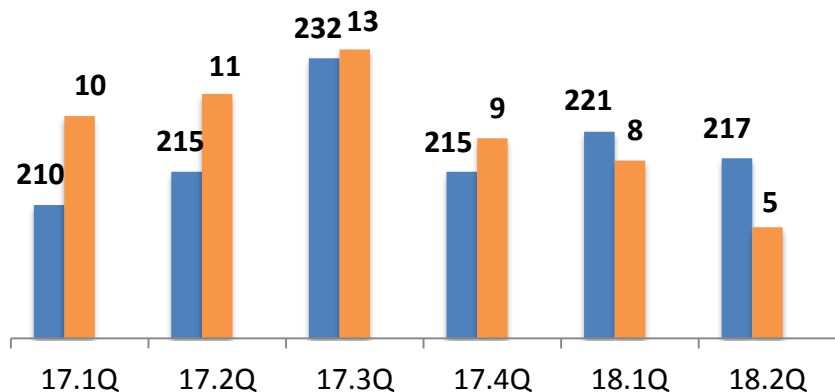
化粧品



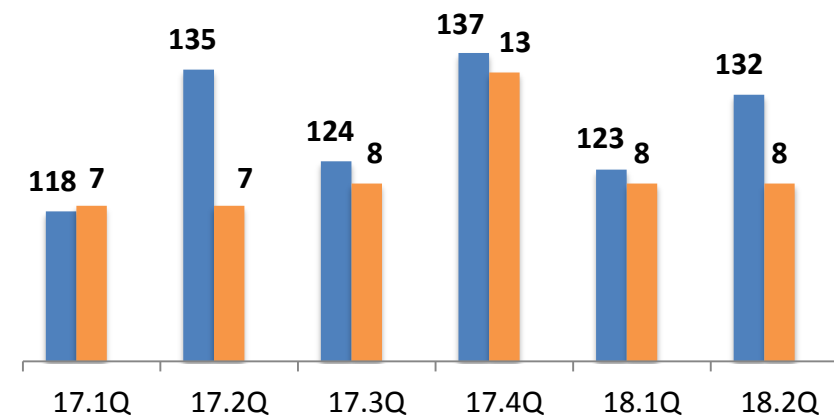
特殊品



セメント



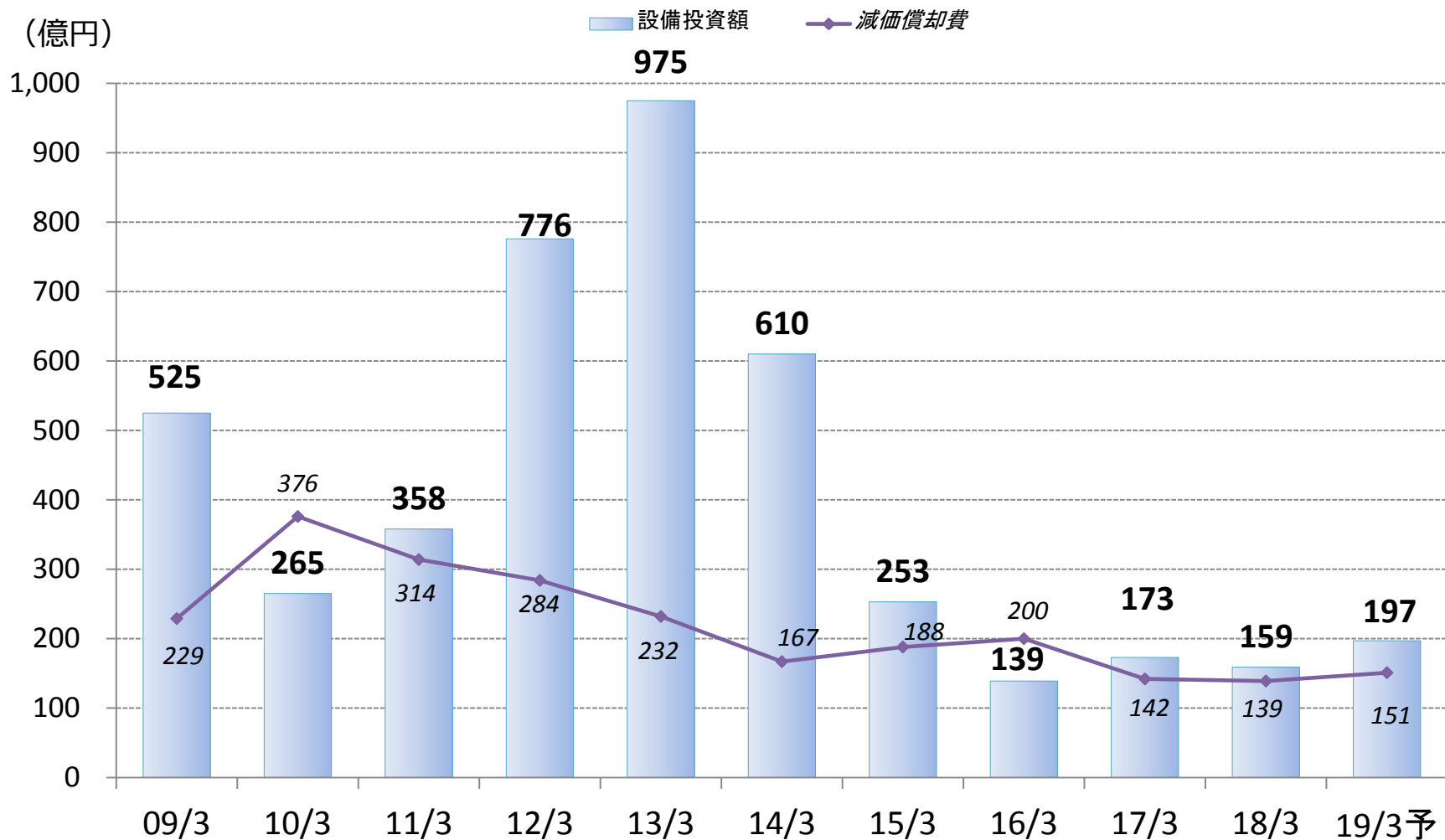
ライフアメニティー



■ 売上高 ■ 営業利益

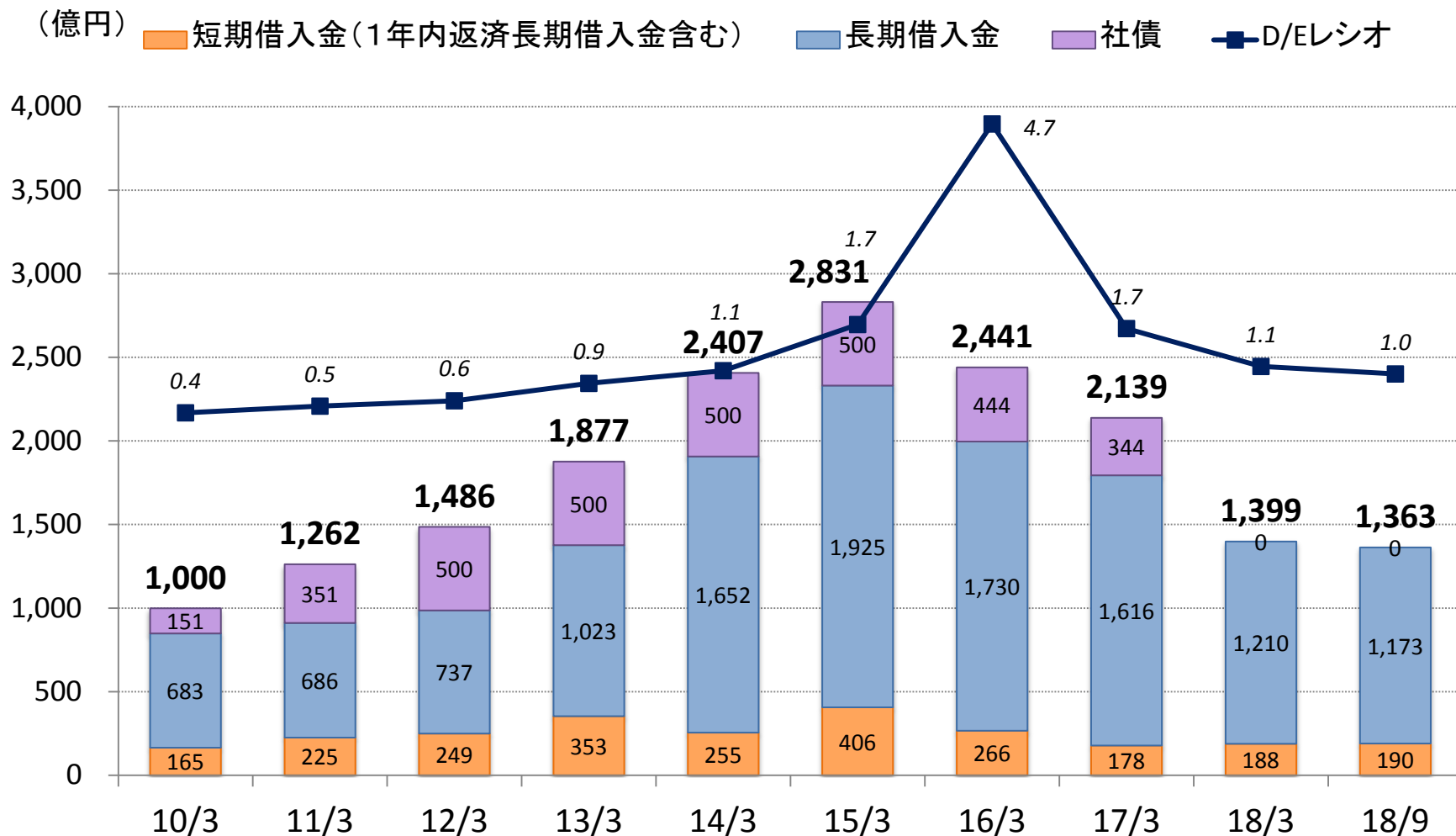
5. 設備投資額・減価償却費推移

連 結



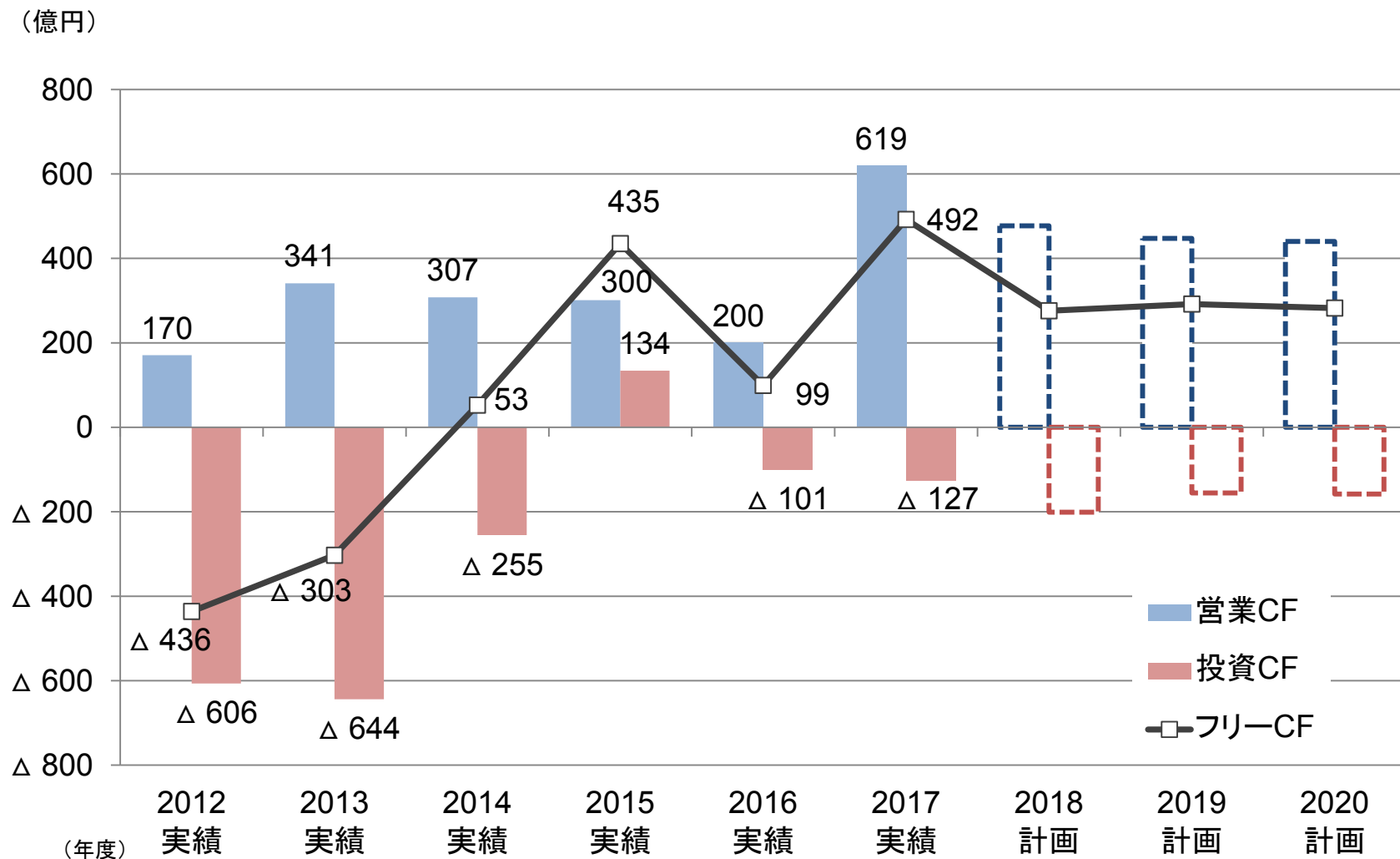
6. 有利子負債残高推移

連 結



4 補足資料

7. フリー・キャッシュフロー推移



本資料に関するご注意

本資料は情報提供を目的とするものであり、何らかの勧誘を目的とするものではありません。

本資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものでありますが、不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。

また、当社の許諾なしに掲載情報を使用（複製、改変、頒布、販売、転載、出版等を含む）することはできません。

Chemistry with a heart

TOKUYAMA

